

海外で母語を育てるということ

—「幼児期から英語に触ればバイリンガルになる」の?—

言語聴覚士・公認心理師 鈴木利佳子

「せっかく海外で暮らしているのだから、子どもにはバイリンガルになってほしい」と願うご家庭は少なくありません。また、「乳幼児期から英語に触れば、自然に英語も日本語も身につくのでは」と考えられることもあります。



しかし、言語聴覚士として子どもたちのことばの育ちを見てみると、ことばの発達はそれほど単純ではありません。たしかに乳幼児期は、さまざまな音を聞き分ける力の土台が育つ時期であり、英語環境の幼稚園や学校の中で自然な発音を身につけるお子さんもいます。けれども、音に慣れることと、その言語を使って理解し、考え、伝え、学ぶことは別です。語彙、文法、読み書き、説明する力といった学習に必要なことばの力は、早く触れば自動的に育つものではありません。

母語は学びの土台になります

UNESCOは、母語を育てることを、子どもが理解し、考え、学ぶための土台として重視しています。母語が十分に育つことは、第二言語を学ぶ際の支えにもなります。つまり、英語を伸ばしたい場合でも、日本語の土台をしっかりと育てることは大きな意味があります。

実際に、日本語も英語も十分に育たないまま学齢期を迎え、授業の理解や読み書き、作文などでつまづくお子さんもいます。日本語は、英語や中国語とは異なる文法体系をもち、ひらがな・カタカナ・漢字という複数の文字を使う言語です。そのため、日本語を読み書きにつながる力として育てるには、日々の会話や読み聞かせ、文字に親しむ経験を家庭の中で積み重ねていくことが大切です。

読み書きの力は、会話とは別に育ちます

小学生のことばの相談を受ける中で、「よく話すのに読み書きが苦手です」「作文が苦手です」というご相談は少なくありません。読み書きの力は、会話ができることとは別の力です。また、文字を覚えるだけで自然に身につくものでもありません。文章を読んで理解するには、ことばの意味がわかること、話や文の流れを追えること、内容を頭の中で整理できることが必要です。書くためには、自分の経験や考えを、ことばで文章にまとめる力が求められます。

読み書きを支えるのは、豊かな語彙です

読み書きを支える大切な力の一つが、語彙の豊かさです。ものの名前だけでなく、気持ちや様子、動きを表すことばなど、さまざまなことばに触れることで、理解する力や表現する力が育っていきます。家庭でできることは、特別な勉強を増やすことだけではありません。毎日の会話の中で子どもの話を広げたり、親が豊かなことばを使ったり、わかりやすい文章で話す見本を示したりすることが大切です。楽しい休日の経験を思い出の写真を見ながら話し合うのも良いですね。こうしたやりとりを通して、順序立てて話す力、考える力、語彙が育ち、相手にわかりやすく伝える力も伸びていきます。



家庭内リテラシー環境がことばを育てます

母語を育てるうえで大切なのが、家庭内のリテラシー環境です。リテラシーとは、単に文字を読んだり書いたりする力だけでなく、本や文字、ことばを通して理解し、考え、表現する力も含まれます。海外では、日本語の本や文字に自然に触れる機会が限られやすいため、家庭の中で日本語の絵本や本を手に取りやすい場所に置くこと、読み聞かせの時間をつくること、そして是非読んだ本の内容について親子で楽しくお話してみてください。「どうしてこうなったと思う?」「この後どうなると思う?」など親子でお話することで、言葉の力の育ちも促せます。家庭の中に「ことばと文字のある暮らし」があることが、読み書きにつながることばの土台を育てます。

ご家庭ごとの目標に合わせて

将来、日本に帰国するご家庭では、日本語を「話せる」だけでなく、読み書きや教科学習につながる力まで育てておくことが大切です。一方、海外で学び続ける場合でも、母語は親子の心のやりとりを支え、自分の背景を理解するための大切なことばです。母語の育ちは、学習のためだけのものではありません。親子で安心して気持ちを伝え合い、自分の経験や考えをことばにし、家族や文化とつながるための大切な基盤です。

バイリンガルは、早く複数の言語に触れれば自然に完成するものではありません。大切なのは、この子にどの言語で、どのような力を育てていきたいのかを考え、家庭の中で豊かなことばのやりとりを積み重ねていくことです。毎日の会話や読み聞かせ、そして家庭内リテラシー環境を整えることが、子どもの学びと心の育ちを支える大きな力になります。ぜひ日本人会の図書室も活用しながら、子どもたちの豊かなことばと心を育てていきましょう。



文責:鈴木利佳子
画像:いらすとや

プロフィール:鈴木利佳子(すずきりかこ)

2003年言語聴覚士、2021年公認心理師国家資格取得。言語聴覚士として日本の病院で約18年間勤務、2021年来星。趣味はダイビング、腹話術、旅行、観劇、音楽鑑賞、ヨガ。

<専門資格>

- ・日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士 (言語発達障害領域、小児構音障害)
- ・吃音領域、失語・高次脳機能障害領域)
- ・公認心理師
- ・日本摂食嚥下機能障害学会 専門療法士、日本臨床栄養代謝学会
- ・NST専門療法士
- ・認知症ケア専門士



診察内容：一般診療 予防接種 ※心療内科 ※カウンセリング ※言語聴覚療法 ※健康診断 レントゲン検査や臨床検査など各種医療検査 ※は予約制です。事前にお問い合わせ下さい。

受付時間：月・火曜 および 木・金曜 9:00~12:00 /14:00~17:00 水曜 9:00~12:30 土曜 8:30~14:00 (日曜・祝日休み)

健康診断、お任せください

海外生活での健康管理、しっかりと把握できていますか？ご自身やご家族の健康維持、そして生活習慣病の予防や様々な疾患の早期発見のためにも、定期的に健診を受けていただくことをお勧めいたします。

当院の健診項目は、ニーズに応じて8種類のコースを取り揃えておりますので、ご年齢、ライフスタイル、ご予算などに合わせてお選びいただけます。

また、子宮がん検査や乳がん検査などの、婦人科検診のパッケージもございます。

通常健康診断と一緒に申し込みいただけますので、ぜひご検討ください。

女性医師・女性検査技師が健診を行いますので、安心して受けていただけます。

健康診断のお申し込みは、当院ウェブサイトにて**オンラインで承ります**。ご希望のお日にちやコース内容等をご確認いただき、必要事項をご入力の上お申込みください。

健康診断・婦人科検診は、当クリニック施設内で実施しております。その他特典として、大人S,A,A+,B+,G,G+コース、お子様Cコースをお受けの方には、日本人会館内レストラン、ラウンジ、クラブショップ、クリニック商品にご利用いただける日本人会バウチャーを差し上げます。



日本人会クリニックのサービス

ペアレントトレーニング

子どもの自己肯定感を育み、困難に負けない強さを!!

ペアレントトレーニングは、保護者の方々が対象です。子どもとの良好なかかわり方を学び、子育てにおける心理的なストレスを軽減、親子ともに心身共に健康に成長できるように支援する保護者向けのプログラムです。

一生懸命教えているのに伝わらない、怒ってばかりで、子どもに伝わらない、暴れる、ぎゃーぎゃー騒いでばかり…もう、いい加減にしてほしいママは怒ってばかりで分かってくれない…私なんて、どうせ…→親子ともイライラ…自己肯定感も低下



言うことを聞いてくれるようになった、癇癢が激減した、親のストレスも軽減した、ママが怒らなくなった、褒めてくれる、僕はできるんだ!! →みんなが笑顔に、自己肯定感も上昇



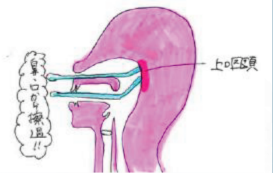
全10回 SGD1200(+GST)

- ・教材費込み
- ・両親参加でも、母のみ父のみでも同額

上咽頭擦過療法

(Bスポット療法・ENT療法)

上咽頭(のどの最上部)に、塩化亜鉛やルゴール液といった抗炎症作用のある薬剤を綿棒で塗布・擦過することで、炎症の改善を図る治療です。



- 以下の症状に対して効果が期待されています
- ・後鼻漏(鼻水がのどに流れ込む感じ)
 - ・のどの痛み、違和感
 - ・慢性的な咳
 - ・耳鳴り、耳の閉塞感
 - ・倦怠感、頭痛、集中力の低下など

ご興味のある方は、どうぞお気軽にご相談ください!

※効果には個人差があり、すべての方に効果があるとは限りません

予約・問い合わせはこちら

clinic@jas.org.sg (24時間)
6469-6488 (クリニック受付時間)